

河北新報

宮城県仙台市に本社を置く
河北新報社が発行する日刊新聞

河北新報
2017年12月8日号に
「介護ソフト ケア樹」を
取り上げて頂きました。



仙台の企業開発 支援ソフト「ケア樹」

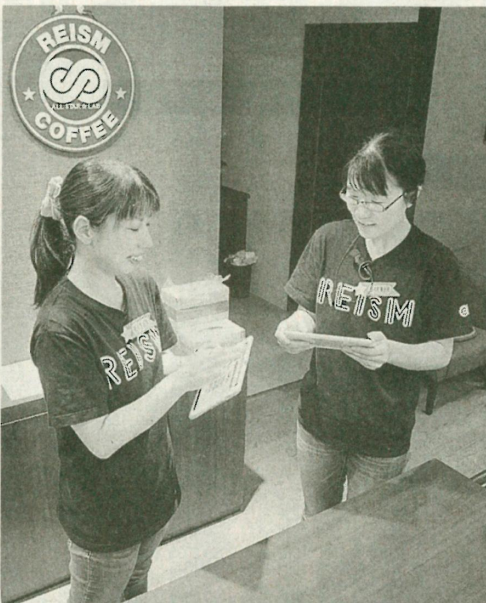
介護記録の電子化好評

ソフトウェア開発のグッドツリー（仙台市）が手掛ける介護業務支援ソフト「ケア樹Free」の売れ行きが好調だ。紙に記入していた介護記録を電子化することで、人手不足に悩む介護業界の業務効率化を図れるほか、業界で初めて月額利用料を無料とし、コスト削減効果も大きい。2013年の発売以降、全国で1600以上の事業所が導入した。

ケア樹の介護記録入力 管され、パソコンの故障や は、持ち運びできるタブレット端末「iPad（アイパッド）」を活用し、体温や血圧などを測ったその場で入力できる。これまでは職員が利用者の居室で手書きした後、事務所に戻り、パソコンなどで転記していた。作業が省略化され、職員の負担軽減につながる。介護保険請求に使う診療報酬明細書の作成と伝送、口座振替支援の機能もある。入力したデータはクラウド式で外部サーバーに保

スクを軽減できる。

ケア樹を利用する在宅介護複合支援施設運営「オールスター・Lab」（仙台市泉区）の佐藤和広介護事業部長は「電子化によって空いた時間は、利用者のサービス向上のために使える」と説明する。導入費用は訪問や通所介



ケア樹用のアイパッドで記録を入力する介護施設のスタッフ
|| 仙台市泉区

現場負担軽減、月額利用料が無料

全国1600事業所 導入

護の場合、アカウント（利用権）発行費1万円、年間事務手数料9800円、サポート料月額5000円。2年目以降は年間事務手数料のみになる。当初は月額利用料も徴収したが、15年度の介護報酬マイナ改定を受け、無料化した。

月額利用料を無料にすることでケア樹の導入が増えれば、クラウドサーバーに蓄積される介護データも増え、より付加価値の高いソフトやサービスの開発に生かすことができるという。

同社は既に介護データにIoT（モノのインターネット）技術を応用し、自動でデータをサーバーに送信する体温計や血圧計などを開発し、実用化している。5万事業所のケア樹導入を目標に掲げる。

グッドツリーの西原翼社長は「介護業界は人手不足に加え、マイナ改定でさらに人件費削減を迫られ、厳しい状況にある。ソフトウェア企業として事業者の悩みを解決したい」と話す。